

令和5年度 総務部 重点施策の実施結果

達成
状況

S… 目標を上回る結果となった
A… 目標通り達成した
B… 達成したが課題が残っている
C… 達成できなかった

総 括

・令和2年12月に策定した定員管理計画では、令和7年度末まで前計画の定員318人を維持する計画でありましたが、防災対策やデジタル化などの業務量増加や定年延長に伴う職員年齢構成の適正化、また、多様な働き方の確保などを図るため、令和10年度末の定員を328人となりました。職員のワークライフバランスの適正化にも配慮し、引き続き適正な定員管理に努めてまいります。

・活動の場と機会を求めるNPOや学生団体等と人手不足や活動のマンネリ化に悩むコミュニティ協議会をつなげるため、マッチングを行いコラボレーションさせることで新たな活動が生まれました。引き続き両者の意見を取り入れながら地域コミュニティが活性化されるよう取り組んでまいります。

・コミュニティバスについて、毎年度改訂している定時定路線運行の路線や時刻表及びデマンド運行の更なる利便性向上を図るため、運行委託事業者との意見交換やバス利用者等のアンケートを実施し翌年度の改訂に活かすとともに、アンケート調査の結果、「デマンド運行（コミタクくん）」の「令和5年4月からフリー降車区域ができたことを知っていますか」の問いに対し「知らなかった」と答える人の割合が非常に高かったため、更なる周知を図るとともに利用者の増加につなげてまいります。

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成 状況	実施結果
1	定員管理計画の見直し (総務課)	今後の定年延長者数の動向や新規採用職員の採用見込み、また、職員の多様な働き方等を踏まえ、定員管理計画の見直しを行います。	令和5年12月末までに、令和6年度～令和10年度を計画期間とする定員管理計画を策定します。	A	「菊川市定員管理計画(計画期間：令和3年度～令和7年度)」を見直し、令和6年度から令和10年度を計画期間とする新たな計画を令和6年2月に策定しました。新たな計画では、多様な働き方の確保や職員年齢構成の適正化を図るため、定年年齢の引上げに伴い定年退職者が生じない年度に2人ずつ定員を増やすこととし、令和11年4月1日における職員数を328人に設定しています。

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成状況	実施結果
2	市民協働センター活動推進事業 (地域支援課)	庁舎東館2階の市民協働センターを中心に、多様な主体をつなぐコーディネート、協働の担い手の支援、協働への参画機会の拡充、庁舎東館多目的エリアの運用及び協働による賑わい創出の促進を図ります。また、地域づくり活動への参画を若い世代へ働きかけるとともに、新たな団体・高校・大学等との協働による活動を推進します。	NPO活動をメ ニュー化し、コミュニ ティ協議会や自治会を はじめ、様々な地域活 動の場で活用してもら えるよう、マッチング に努めます。 目標マッチング件数： 10件	A	地域コミュニティ活性化事業として、人手不足や活動のマンネリ化等に悩むコミュニティ協議会と、活動の場と機会を求めるNPOや若者のマッチングを行い、11件のコラボ活動が生まれました。 また、コロナ5類変更後の活動再開に向け活動内容の企画が負担になっているとの意見を受け、内容を検討する際の参考にしてもらうようにNPO活動やワークショップ等をリスト化し、コミ協懇話会にて各地区に情報提供しました。
3	コミュニティバス利用促進 (地域支援課)	自治会からの要望や利用者・事業者の声を基に、令和5年度から改定した定時定路線運行の路線や時刻表及びデマンド運行の運行方法等について、出前行政講座や無料乗車体験会等により、広く市民へ周知します。 併せて、引き続き、利用者・事業者からの意見を聞き、コミュニティバスの利便性向上を図ります。	①コミュニティバスに関する意見・要望を広く聞き取るため、定時定路線運行において、運行委託事業者とのヒアリングを2回以上実施します。 (令和4年度実績：1回) ②デマンド運行において、利用者を対象としたアンケート調査を実施し、30人以上から回答を得ます。	A	定時定路線運行において、運行委託事業者と令和5年5月に運転手アンケート及び次年度運行内容の検討、令和5年12月に契約関係及び2024年問題に向けての意見聴取を行いました(計2回)。 デマンド運行の利用者は繰り返し利用している方が多く、実利用人数は少数で、アンケート数が達成目標の30件に届かない状況であったため、デマンド利用者のアンケートに加え、デマンド運行の説明会などにおいて、今後利用者となる高齢者の方々を対象としたアンケート調査を追加実施し、合計41件の回答を得ました。